

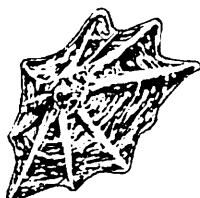
協議会ニュース

82号

愛知県自然観察指導員連絡協議会 2002.5



オオヘビガイ



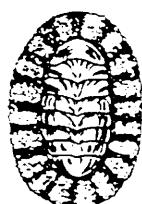
ウノアシ



アラレタマキビ



ベッコウガサ



ヒザラガイ

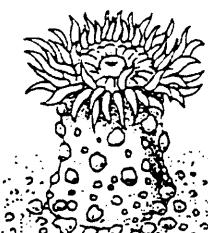


レイシガイ

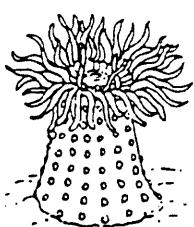


タマキビ

固着生物



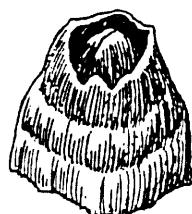
ヨロイ
イソギンチャク



ミドリ
イソギンチャク



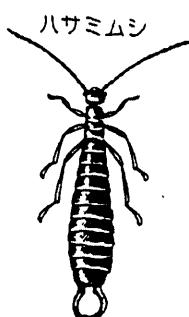
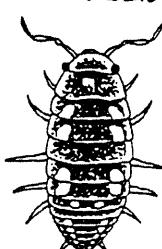
タテジマ
イソギンチャク



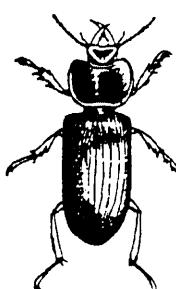
クロフジツボ

海岸の掃除屋

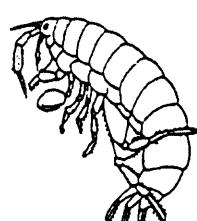
ハマダンゴムシ



海岸の生物 (自然観察カイト2 (誠文堂新光社) から)



ヒョウタンゴミムシ



ヒメハマトビムシ

大盛況！尾張自然観察会20周年祭

尾張自然観察会20周年祭を終えて

尾張自然観察会20周年祭 実行委員長 山田博一

尾張自然観察会20周年祭は、映画の参加者343名、指導員のワークショップと展示は160名前後の参加があり、参加者に最後まで、エントランスロビーの写真・標本・クラフトを見ていただきました。当日のカンバが34130円あり、次の日から「成功おめでとうございます」のメール・FAX・はがきが24通ありました。

昨年の6月23日の第1回実行委員会より、「どうすれば多くの人に来てもらいたい、尾張自然観察会の活動を知つてもらうか?」が出発点でした。そのため有名人の講演会や研修会・シンポジウムなどなどいろいろな案を出しあって議論を重ねてきました。

その中で、意識の高い人に人気のあり、質の高い映画ガイアシンフォニーを呼び水にして、できるだけ多くの人に来ていただき、観察会のスライドを上映して、自然の写真・標本の展示とワークショップから、多くの人に尾張自然観察会を知つてもらう案が浮上してきました。

それについて、尾張支部のできるだけ多くの指導員の意見を取り入れるため、通信で実行委員の公募を行い、5回にわたって、経過の説明、参加の呼びかけを行いました。また、時間の許す限り観察会の現場に出向いて経過説明、参加呼びかけを行いました。

昨年の総会で実行委員会の取り組みが了承され、多くの指導員がワークショップ・展示・スライドなどに協力していただくことになり成功に至りました。

尾張観察会の指導員の御協力に感謝いたします。

<開会の挨拶> 長谷川洋二

今日はこんなにたくさんの皆さん
が、私どもの記念祭に集まつて
いただきましてありがとうございます。
今日の記念祭には、愛知県(愛知県
教育委員会)や犬山市(犬山市教育
委員会、犬山市アメニティ協会)、日本
自然保護協会などの後援をいた
しております。特に犬山市において
は、多くのご配慮をいただき、感謝
しております。(略)



さて、私たち、尾張自然観察会は、日本自然保護協会の自然観察の講習を受けた自然観察指導員が中心となってつくっている団体で、多くのみなさんに自然に親しんでいただきたいと思いこの尾張の地域で、自然観察会を行つてきました。自然観察は、草や木の名前を覚えることではありません。(略)

1階に、巨木の写真が展示してありましたが、1本の大きな木も、小さな種から始ま

ります。小さな種は、土や光から力をもらって大きくなります。土は、長い長い時間の中でつくられてきたものです。光は、地球からはるか離れた太陽からの贈り物です。大きくなった木は、虫や鳥等の動物に食物と住みかを与えます。また、二酸化炭素を吸収し、酸素を排出して、地球全体の環境をも守っています。やがて、この木は倒れ、土に戻り、次の種を育てます。こうした循環が行われる中で、地球は生き、私たち人間も生き続けてきました。みなさんの日常生活の中の身近なところでもこうしたことが行われています。道端とか、田んぼとかで、草、木、虫、鳥たちが生きています。ちょっと立ち止まって、数秒でいいから自然を見てみてください。きっと、何かが見つかると思います。私たちは、こうしたことを、自然観察会を通じてみなさんと共に感じていきたいと思っています。

ぜひ、今日を機会に、自然観察会に参加していただき、一緒に歩いていただくことをお願いいたします。(略)

＜閉会の挨拶＞ 山田博一

この映画では、4人がガイアを語りました。しかし、この会場では、映画ではなく、もっと身近にガイアを語ってくれる人たちを紹介します。それは、自然観察指導員です。この尾張地区では、自然観察指導員が「自然に親しみ、自然から学び、自然を守る」ことを通してガイアを語ります。この活動は、有名な宗教家の話でもなければ、世界で最も深く潜るダイバーの活動ではありません。非常に地道な活動です。しかし、身近にわれわれの住む近くでガイアを語ってくれます。ガイアシンフォニー（地球交響曲）第4番で「風を感じる」という表現があります、実際に自然観察会をやっていると、四季折々にそれを経験します。

今日配布した尾張自然観察会のパンフレットの地図を見て、ぜひ一度、自然観察会に参加して、風や木々、草花、動物などの自然に親しみ、風を感じてください。自然観察指導員もガイアを語ります。最後に、1階エントランスロビーの写真・標本・クラフトの展示を、まだご覧になっておられない方はぜひ見て帰ってください。



20周年祭の展示とワークショップの内容

1. 1Fエントランスロビー

- ①犬山の自然を守る活動紹介と展示「犬山の巨樹・巨木・銘木を守ろう」(エコアップリーダー)
- ②自然観察会の写真展、工作物と標本の展示（大谷敏和、長尾智、山岡雅俊、山本尚三）
- ③善師野の化石と木の実のクラフトの展示(平井直人)
- ④自然物を使った絵と作品（山田果与乃）
- ⑤岩倉自然園の写真（斎竹善行）
- ⑥森林公园の写真（森の会）

- ⑦いろいろな種（大久保巖）
 ⑧自然のアート（石井幸子）
2. 多目的研修室2 ビデオ上映 （大竹勝）
 ブラジルの自然—パンタナールとアマゾン。南パンタナール。ベレンー靈長類研究所、エミールゴエルジ博物館。マナウス-動物園、自然史博物館。アマゾンの動植物。アマゾン河（ベレン、サンタレン、マナウス、マミラウア）。善師野自然観察会。
3. 多目的研修室1 語り合い （北岡明彦）
 「こんな自然博物館があつたらいいな！夢を語ろう」
4. 研修室1 展示 （曾我部行子）
 「自然観察と自然保護は両輪！いつでもどこでも自然観察、そしてためらいのない自然保護、自然観察から始まった自然保護の11年、海上の森の写真」
5. 研修室2 展示 （大宮克美）
 「ため池の水の調査結果」

20周年祭参加者アンケート結果 (長尾 智) アンケート回収総数【51】

- I. どのような方法によって、知ったか。
- 1. チラシ【6】 2. ポスター【1】 3. 尾北ホームニュース【2】
 - 4. 犬山市広報【5】 5. 中日新聞【4】 6. 知人からの紹介【25】
 - 7. ガイアネットワークのホームページ【6】 8. その他（宇宙少年団【3】
 - ・協議会ニュース他【1】・支部会報【1】・三河の会と協議会【1】・犬山エコアップ【1】
 - ・ガイアネットワークのちらし・【1】・毎日新聞のガイアシンフォニーの広告【1】
 - ・ガイアシンフォニーの上映予定表【1】・他作品を見て【1】・(無答)【1】
- II. 印象に残ったり興味を持ったもの。
- A. 1階ロビーにおける展示
- 1. 写真・絵画展示【29】 2. 物品展示【17】
- B. 個人・グループによる活動発表
- 1. ブラジルの自然のビデオ上映.....【9】
 - 2. こんな自然史博物館があつたらいいな！夢を語ろう…【12】
…残念、参加できなかつた【1】
 - 3. 自然観察と自然保護は両輪！.....【12】
 - 4. ため池の水質調査.....【10】
 - 5. 犬山市の巨樹・巨木の調査.....【12】
- C. スライドによる自然観察会の紹介
- 1. 森林公園【9】 2. 定光寺【11】 3. 島田湿地【10】 4. 築水池【11】
 - 5. 善師野【13】 6. 岩倉自然生態園【12】 7. 岩藤川【8】
 - 8. トンボ池【14】 9. 守山自然ウォッキング【11】 10. 明徳公園【10】
- D. 映画ガイアシンフォニー第2番の上映の感想【32】
- 1. 楽しい映画でした。
 - 2. 取り扱った対象、音楽多し。
 - 3. ずっと見たかった2番を見ることができてうれしいです。
 - 4. ガイアシンフォニー2番を見たくて来ました。映画は期待以上でしたし…。
 - 5. ガイアシンフォニー4番を見たけど、こっちの方が良かった。

6. 静かに静かに心にしみこんでくる映画でした。どうもありがとうございました。
7. 観たかった映画だったのでとてもうれしかったです。ぜひ4番も観たいと思っています。
8. 先月、多治見で4番を観て、この映画に興味を持ちました。今回の機会を得て、2番を拝見し、感動しました。1番、3番機会があったら‥。ありがとうございました。
9. 映画は静かな内容だったので、もう少し一般向けの楽しさのある映画が良いように思う。
10. 人間も自然の中で生かされていると感じがした。自然のものは害がない。今の子供は気の毒。便利なことばかりではいけない。
11. 1番、3番、そして今日の2番、皆とてもすばらしかった。また観たいと思いました。
12. 初めてこの設備を利用しましたが、大きさ、きれいさにびっくりしました。知人から聞いたので全然知らない映画でしたが、なつかしい音楽もあり、地球の美しさに再び気づけました。
13. 映像が美しい。自然と共に生きることを心がけたいと思いました。
14. 映画良かったです。龍村監督にも、がんばってもっと作品を作ってほしいです。
15. 地元でこのような素敵なかいわんイベントを行っていただきありがとうございました。私も何らかの形でガイヤに接していきたいと思います。
16. 心に残るものがあり感動しました。涙が自然にあふれてきました。
17. 弱い命、小さな存在、陰の生物、これ全て我々の存在の根源であることを今更に知る。
18. 自然と共に生きたいと願う自然を愛するものです。写真家星野道夫さんのことが大好きです。最も敬愛する人です。是非「地球交響曲第3番」を上映してください。待っています。
19. 人間の生き方に関するドキュメントが、‥自分に深い感動を与えてくれました。
20. 謙虚に見ること、大きく見ること、認めあう心って本当に大事なことだと感じました。
21. 4人の登場人物それぞれ、自然な生き方に非常に感動しました。
22. ジャックマイヨールさんが特に良かったが、全体的に声が聞き取りにくかった。
23. ダライ・ラマの人間性。
24. 大変良い映画だった。ダライ・ラマ14世、佐藤初女さんの生き方、考え方へ感動し、希望を持てました。
25. ダライ・ラマが見たくて来ました。ふつうの言葉、私と同じ言葉で語る方ですが、あの方に触れられると、人はなぜ幸せになるのでしょうか?たとえそれが映画の中でも。
26. ダライ・ラマの考え方へ私にはわかりません。中国仏教とインド仏教の違いがあるのでは。慈悲と利他とは‥‥。
27. ヨガをやっています。宇宙生命力フラーナを感じずにはいられません。言葉には説明しにくい現象ですが、フラーナを体内に取り込むと、たしかに生命は強く幸せになります。それを実感しました。
28. よくわかりませんでしたが、自然大好き人間です。
29. 長かった。
30. 小さな石ころで漬け物を漬けることは知っていなかった。台所に大きな石や小さ

な石があるといいなと思いました。自然の幸の受け取り方レシピという言葉はレシーブという言葉と同じ意味なのではないかと思います。

31. 佐藤初女さんの夏の場面から涙が止まらなくなりました。
32. ガイアシンフォニー2番楽しませていただきました。友人と朝の9時出発で1日がかりでしたが無料と聞いてびっくり、カエルの箱にカンバさせていただきました。ありがとうございました。(三重県多賀郡から)

A～Cの具体的な感想

A. 1階ロビーにおける展示【4】

1. 1階ロビーの限られたスペースを効果的に利用していることに感心させられました。
2. 写真・絵画展示【25】
 - (1) 1Fの写真が特によかった。説明をしてくれるガイドの人がいたらもっといいな。
 - (2) 写真も大きくきれいで、展示もわかりやすく良かったです。
 - (3) 身近な自然を自分の目で見たいと思いました。

2. 物品展示【13】

- (1) カラムシをさわることがおもしろかったのですが、あとはほとんど見るだけになってしましました。
 - ・木肌をさわったり草のにおいをかいだり…なんてこともできるともっとよかったです。
 - ・物品もみるだけにおわってしました。
 - ・ヤジロベエとか、さわってみてもよかったです。

B. 個人・グループによる活動発表【2】

全体

- (1) 活動の様子をはじめて知りました。たくさんのグループがあるのですね。

1. ブラジルの自然のビデオ上映【7】

- (1) ビデオを見ながら説明していただき、とても楽しくすごせました。

2. こんな自然史博物館があつたらいいな！夢を語ろう【10】

3. 自然観察と自然保護は両輪！【10】

- (1) Bは3, 4時間かけて見せていただきました。とてもよくまとめられていて、みんなの努力や自然に対する熱さを感じることができました。
 - ・これから自然観察をするうえでのヒントになりそうなこともあります。
 - ・すばらしい姿勢を見習いたいと思いました。
- (2) 説得力があった。(資料がしっかりしている。)

4. ため池の水質調査【8】

- (1) 3の(1)と同じ。

- (2) 3の(1)と同じ。

5. 犬山市の巨樹・巨木の調査【10】

- (1) 犬山の巨木を改めて感じ直した。大切な財産であると思う。

- ・何百年もたっている生命力はすばらしい。写真が美しい。

C. スライドによる自然観察会の紹介【7】

1. 森林公園【2】 2. 定光寺【4】 3. 島田湿地【3】 4. 築水池【4】

5. 善師野【6】 6. 岩倉自然生態園【5】 7. 岩藤川【1】 8. トンボ池【7】
9. 守山自然ウォッキング【4】 10. 明徳公園【3】

スライドの感想

全体

- (1) 自然観察指導員の個性が出た紹介でした。
(2) 自然観察会の紹介は、それぞれ個性的な演出でよかったです。スライドの説明がもう少ししてほしかったです。
(3) 各所の観察会のあらましがよく分かりました。参考にさせていただきます。
(4) …。自然観察会の紹介を聞いて、活動を知り、とても興味をもちました。…、自然観察会の情報も得たし、来てよかったです。
(5) 活動の内容についても興味を持ちました。私たちの環境を良くしていくことは結局ひとりひとりの意識によると思います。身近な自然を愛することが、地球を愛する第一歩なのだと深く思いました。
(6) みじかな所でみじかな人がやってる、みんなのために、子供のために行動してる事。
10. 明徳公園 (1)自分で掘ったトンボ池、香流ビオトープが紹介されてよろこんでおります。

III. 20周年祭全般への意見

- (1) 機会あるごとに、この様な展示を見たい。
(2) 4Fのパネル展示をもう少し上へ、とても良い写真なのでう少しうやすく。
(3) スタッフのみなさん、おつかれさまでした。とても素晴らしい20周年祭だと思います。展示が一日しかされないのはもったいないような気がします。また、こういう機会があるといいです。
(4) 実行委員長さんの最後のあいさつ、こころがこもっていてよかったです。
(5) はじめて会のことを知りました。今後参加したいと思っています。
(6) 初めて知りました。今後注目していきます。
(7) 自然観察の会がたくさんあるのを知って驚きました。身近なガイアシンフォニーを聞いてみたいなあと、思いました。
(8) 今後の活動、応援いたします。
(9) 自然観察会を通じての、今日的な我々への問題提起を頂き、有難う。
(10) 楽しい一日をありがとうございました。心から感謝しています。
(11) 地元の資源ゴミ回収当番のため、午後からの参加です。お疲れさまでした。

IV. 自然観察会について、次の問い合わせにお答えください

A. 今までに、自然観察会に参加したことがありますか。

1. はい【19】 2. いいえ【37】

B. 今後、自然観察会に参加したいと思いますか。

Aの問い合わせに「はい」と回答した人

1. はい【19】 2. いいえ【0】

Aの問い合わせに「いいえ」と回答した人

1. はい【28】 2. いいえ【5】……はい?

【1】・はい→おもしろい?【1】・まよってます【1】・(無答)【1】

私の思う環境共育と自然観察

堀田 守（名古屋支部）

我々を取り巻く環境問題は、大気汚染、水質汚濁、ゴミ不法投棄のような身近な問題から、地球規模の温暖化、オゾン層の破壊のように、国境を越えて、次世代へ及ぶものまで、いろいろあることはすでにご存じだと思います。

平成14年4月から小中学校で新しい指導要綱による学校の完全週5日制のもと、総合的な学習の時間も始まっています。子供達が自ら学び、考え、問題を解決する力を養うことに焦点が置かれ、地域社会という学習の場が設定がされ、今後ますます地域における子どもとの接点、自然とのふれあいに対して、自然観察指導員に対する協力が求められるようになってくると思われます。

最近、人ゲノムという言葉が、よく聞かれるようになりました。私は、日本人の人のDNA（遺伝子）には、秋のお月見・春の七草・節分・四季おりおりの生活行事を楽しんできた、自然と親しむ情緒が組み込まれていると思っています。

「うさぎおいしかの山 こぶな釣りしかの川……」「カエルの歌が聞こえてくるよ……」と歌われる童謡がありますが、歌われている情景が、また歌詞 자체が、現在は夢物語になってしまいつつあります。豊かな自然環境が身近な街の中では見られなくなり、遊びを通して体験できない、そんな場所が残されていないのも地域の環境の問題ではないのでしょうか？ 遺伝子は、なにかのきっかけで、時期的に刺激をうけることによって、いつでも目覚めるようになっていると言わ

れています。子育てにおいて、身の回りにある自然とのふれあいが、子供達の情操や、人格形成においてもっとも大切な時期があります。それは、赤ちゃんから幼稚園（0から6才）であり、小学校1年から6年までで、年代によっていろいろな体験が必要となります。その体験には、自然とのふれあいが良いといった研究結果もでているそうです。

最近のお父さん、お母さんも高度経済成長の時代に育てられ、自然にふれあって育てられた経験が少ない為、子供達とどう自然とふれあいさせたらよいかがわからないといった質問もたくさんいただきます。夕焼けを見たり、植物の種を集めたり、トンボを追いかけてたり、落ち葉で焼き芋を焼いたりと、自然と親しむ方法はいくらでもあります。情操・情緒・気の持ち方には、時間もお金もかかりません。親は、自然と関わり合いながら子供を育てるべきではないでしょうか。いろいろな生活の関わり合いのなかから、自然とふれあいながら環境を考え、次世代を担う子供達に自然体験させ、よい環境、質のよい自然を与えていくような意識を持つもらうことが必要と思われます。また、観察指導員として環境協育を支えるという視点を持つて、一人一人が行動することが、我々の活動の一つであると思っています。



《指導の為の参考例》

「環境問題が大切なのはわかるけど、自然観察とどうやって結びつけるの？」

◎自然とのふれあいは、人が自然のもたらす恵みを学ぶ基本的な行動の原点である。

観察会で、川をテーマに観察指導している時を想定してみます。

水環境を構成している要素は、水量、水質、水辺の環境、水生生物等であり、どれか一つでも欠けていると豊かな水環境のバランスはくずれ、よい水環境は保たれないことは皆様ご承知の通りです。

川とか池ではいろいろな生き物が見られます。生き物が得意な方は、生き物を通して、生物連鎖の話から、環境を考える方向にもっていくように指導することが

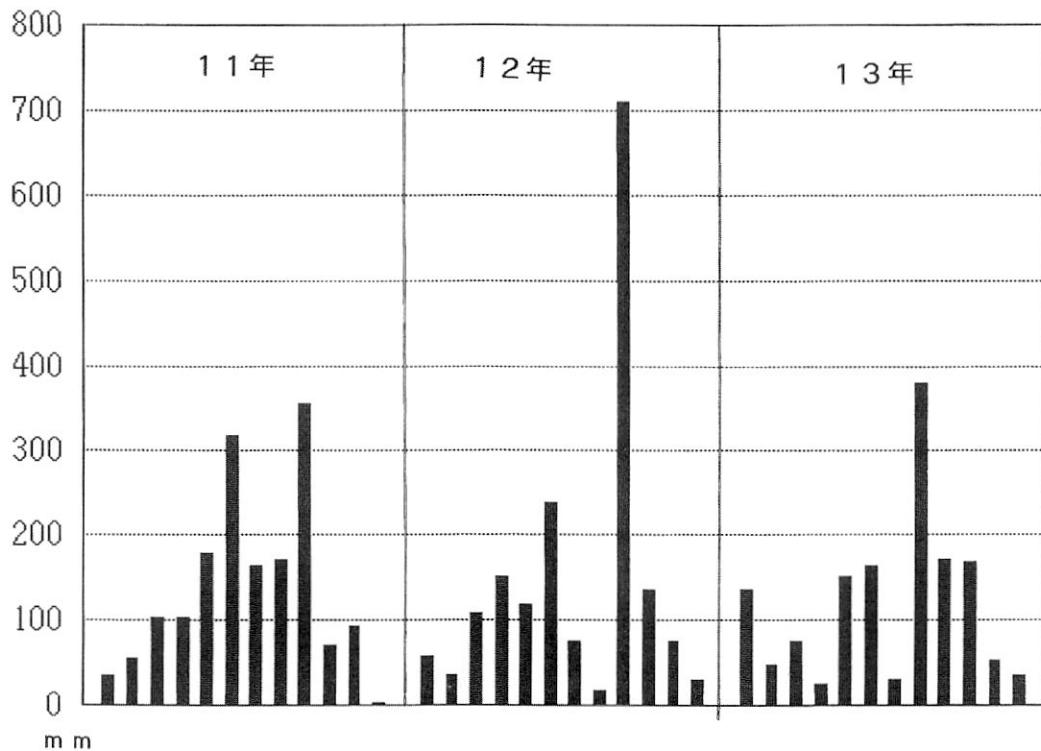
できます。

また、水辺の環境をテーマとする時は、影響を及ぼしている地域を考える視点を持つことも必要です。自然豊かな水辺の減少は、多くの生物の生育環境を失うことになり、昆虫・魚・水鳥など多くの生物、多様性の低下を招いています。つながりを考える能力ができるように、気付いて築く、自然の感じ方、水環境の魅力の発見や、その裏に見られる問題に気付くなど、発見が能力を育てていくことが環境教育につながる自然観察会のあり方の例になると私は思っています。

(注) 「共育」は、共に育つ意味を込めた、「協育」は、協同して育てる意味を込めた当て字です。



月別降水量（平成11～13年）



事務局から

[行事結果]

★ 協議会総会

〔期日〕平成14年3月24日(日)

〔場所〕産業貿易館（名古屋市中区）

〔出席〕30人

〔議案〕

- ・第1号 平成13年度事業報告
- ・第2号 平成13年度収支決算
- ・第1号 平成14年度事業計画
- ・第2号 平成14年度収支予算

原案どおり承認されました。

〔主な意見〕

- ・現在支部配分金を各3万円一律に支払っているが、これを人数割にしてはどうか。（理事会で検討する。）
- ・会員は、協議会費と支部会費をダブって支払っており、NACS-Jの会費もあるので、なるべく少なくして欲しい。（会費のあり方についても今後検討していく。）
- ・定例観察会に対して、協議会で保険をかけているが、保険料を参加者から取っている所と取っていない所がある。統一すべきではないか。
- ・研修会を積極的に実施して欲しい。
- ・会員名簿にEメールアドレスを入れる必要がある。
- ・協議会が何を目指しているか、わかりにくい。
- ・指導員の潜在的エネルギーを生かすようなことができないか。

※ なお、総会当日配布した議案書で、収支決算に科目違い（会費と保険料）が

ありました。（監事さんから指摘）おわびいたしますとともに、訂正したものを、今回の機関誌とともに配布します。



[その他]

★ 事務局体制づくり

平成14年度の1年をかけて、事務局体制を順次整えていく作業に入りつつあります。現在は、近藤記巳子さん、石井幸子さん、石田晴子さんが中心になって、前に会員アンケートで事務に協力しようと書いてくださった方に呼びかけて、5月14日等に打ち合わせを行ってきました。

本年度の事業は、とりあえず機関誌の発行と研修会の実施を主として、それぞれ班を設けて進め、順次事務分担を決めていくこととしています。その他の事務も順次担当を決めていきます。

事務局のお手伝いをしてくださる方はご連絡ください。



ふるさと自然観察会2002

さまざまな地球環境問題が表面化している今日、その解決に向けてさまざまな努力がされていますが、一人一人が自然の仕組みに关心を持って行動することが大切であると思います。

環境月間に因む「ふるさと自然観察会2002」では、身近な自然の営みを見つめ、そこにくらす生き物の生活がふつうに続くことが私たち人間の生活の安定につながることを一緒に考えたいと思います。お誘い合わせの上、ご参加ください。（参加費無料、小雨実施。連絡先に申し込んでください）

5月18日（土）午前9時30分～12時

「新緑の大滝渓谷を楽しもう」

集合場所：豊田市 大滝渓谷駐車場

連絡先：水鳥富人 0564-55-1802

5月25日（土）午前10時～13時

「乳岩峡の新緑を楽しもう」

集合場所：JR飯田線川合駅前 P有り

連絡先：杉山茂生 05362-5-0168

6月1日（土）9時30分～12時

「お宮の森、残された森」

集合場所：名古屋市天白区平針針名神社 P有り

連絡先：佐藤国彦 05617-3-5674

6月8日（土）午後6時30分～8時30分

「朝倉川のゲンジボタルの観察」

集合場所：豊橋市 東陽地区市民館前 P有り

連絡先：星野芳彦 0562-93-4927

6月15日（土）午前10時～13時

「棚田の生き物たち」

集合場所：瀬戸市 定光寺山門前駐車場

連絡先：大谷敏和 0572-23-6907

6月30日（日）午前9時30分～12時

「森の妖精・キノコに会いに行こう」（キノコを入れるかごを持ってきてください）

集合場所：大府市 二つ池公園東駐車場

連絡先：降幡光宏 0569-43-8060

行 事 案 内



★ 協議会研修会「名古屋メダカって知っていますか」

・期日：平成14年7月20日（土）13:00～

・場所：東山公園メダカ館（動物園内） (詳細は、次号で)

★ 知多支部20周年記念行事 「海辺の生きものと友だちになろう」

・期日：平成14年6月9日（日）

① 海辺の生き物観察（新舞子海水浴場（集合：かまぼこ型トイレ前）

10:00～12:30 Pd

② ようこそ知多の自然へ（知多市地域文化センター） 10:00～16:45

・川の生き物 ・作ってみよう（ブローチ・キーホルダー等）

③ 講演「伊勢湾の環境と生き物」 講師：柏原正尚氏（ピーチランド副所長）

（知多市地域文化センター） 13:45～14:45

* 名古屋支部20周年：平成14年9月23日（休） 市農業センター

★ 近畿・東海連絡会ブロック会議 （予定）

・期日：平成14年8月3～4日（土日） 場所：大台ヶ原

・今まで2年に1度位のペースでブロック会議を行っていますが、今回は奈良県の主催で行われます。（詳細は次号。申込は佐藤国彦まで）

◆ 編集後記 ◆

暖かい年で、慌ただしく季節が変わっていくようです。生き物たちもとまどっているのでしょうか、自然に気候に合わせているのでしょうか。

さて、本号をもって、私が編集を担当するのも最後となりました。創刊号以来直接または間接にに編集に関与してきましたが、次号からは全く新しい担当にお任せしようと思っています。新しい機関誌として生まれ変わっていくことを期待しています。とりあえずは、会員の皆様からの多くの投稿で編集者が悲鳴をあげるよう原稿が寄せられることを願いしま

— 目 次 —

・大盛況・尾張自然観察会	5
20周年祭	1
・私の思う環境共育と	
自然観察(堀田 守)	7
・事務局から	9
・夫るさと自然観察会2002	10

す。今後の発行は、奇数月の1日の予定ですので、偶数月の初めが締切日になるかと思います。当面は、佐藤までお送りいただきても結構です。

（佐藤国彦）

愛知県自然観察指導員連絡協議会 機関誌 NO.82

事務局 ☎470-0114 日進市南ヶ丘 2-18-11 佐藤国彦